

平成23年8月3日

各 位

会社名 大日本印刷株式会社  
代表者名 代表取締役社長 北島 義俊  
(コード番号7912 東証・大証第1部)  
問合せ先 広報室長 神戸 好夫  
(TEL . 03 - 5225 - 8220)

## 当社子会社（株式会社インテリジェント ウェイブ）の業績予想の修正 及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、当社子会社である株式会社インテリジェント ウェイブが平成22年8月11日に公表した業績予想について修正するとともに、特別損失の計上を行うことになりましたので、別添資料のとおり、お知らせいたします。

これによる、当社の平成24年3月期連結及び個別業績に与える影響は軽微であります。

以 上



各 位

会 社 名 株式会社インテリジェント ウェイブ  
 代表者の役職名 代表取締役社長 山本 祥之

(コード番号 : 4847)

問い合わせ先 常務取締役 経営管理本部担当 石井 郁夫

TEL 03-6222-7015

## 業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 8 月 11 日に公表した業績予想を下記の通り修正するとともに、特別損失の計上を行うこととなりましたので、下記の通りお知らせいたします。

## 記

(金額の単位 : 百万円)

平成 23 年 6 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 7 月 1 日 ~ 平成 23 年 6 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 ( A )	5,330	230	250	120	448.56
今回発表予想 ( B )	4,762	321	341	129	491.53
増 減 額 ( B - A )	568	91	91	9	
増 減 率 ( % )	10.7	39.6	36.4	7.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 6 月期)	4,956	358	387	211	845.98

平成 23 年 6 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 7 月 1 日 ~ 平成 23 年 6 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 ( A )	5,330	240	260	130	486.73
今回発表予想 ( B )	4,761	335	353	126	480.76
増 減 額 ( B - A )	569	95	93	4	
増 減 率 ( % )	10.7	39.6	35.8	3.1	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 6 月期)	4,957	412	436	177	708.98

## 修正の理由

## (1) 連結、個別業績予想の修正

当社の主要な事業領域であるクレジットカード、証券、金融の各業界各社においては、厳しい事業環境に対応すべくシステム投資案件を慎重に選択、抑制する姿勢が強く、当社の関連のソフトウェア開発売上もその影響を受けることとなりました。また、証券業務において年度当初より商談を進めていた比較的規模の大きな投資案件について決定時期の延期等が生じたため、関連するソフトウェア開発やパッケージ販売等の売上が減少する結果となりました。

当会計年度においては、クレジットカード業界向けにハードウェア販売の営業活動に注力し、当初計画を大きく上回る実績をあげることができましたが、ソフトウェア開発やパッケージ販売の売上減少を補うには及びませんでした。

その結果、連結売上高は4,762百万円となる見込です。

当会計年度において売上高は連結、個別それぞれ当初予想を下回る見込となりましたが、当社は、ソフトウェア開発業務においては効率的なプロジェクト管理による執行に努め、ハードウェア販売においては原価の管理を強化する等の営業努力に注力し、併せて全社的な経費節減の取り組みを進めてきました。また、後述のとおり当期連結会計年度においてソフトウェア臨時償却費を計上することにより、当第3四半期連結会計期間までに計上していた減価償却費を特別損失として振替計上することとなり、その結果、当連結会計期間の営業利益は当初予想230百万円を91百万円上回る321百万円の見込となりました。

同様の理由により当連結会計期間の経常利益も当初予想250百万円を91百万円上回る341百万円の見込となりました。

個別業績予想についても同様の理由により、営業利益は当初予想240百万円を95百万円上回る335百万円、経常利益も当初予想260百万円を93百万円上回る353百万円の見込となりました。

(参考) セグメント別連結売上高内訳

(単位：百万円)

セグメント別	売上高	(参考)前回予想売上高
カードビジネスのフロント業務	2,765	2,440
システムソリューション業務	1,489	2,060
セキュリティシステム業務	507	830
合計	4,762	5,330

(2) 特別損失の計上について

販売用ソフトウェアの販売計画と販売実績とを検討した結果、無形固定資産評価額を見直す必要があると判断したため、当個別会計年度においてソフトウェア臨時償却費を82百万円、当期連結会計年度において77百万円をそれぞれ計上いたしました。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上